

上部に所属しているが、部活もなかっただけで、
 どうしても運動不足になってしまった。私は陸
 イホムで外出がなかなかできずにいたので
 さらにもう一つよかったことがある。ステ
 りするようになった。
 最近には血洗いなど自分ができるところをきつち
 のかミ。そういうことを考えるようになった。
 していて、家族にどれだけ迷惑をかけていた
 大変さを知った。いつも自分がどれだけ楽を
 とができた。手伝いをすること、改めて親の
 ればあまりやらない手伝いを積極的にすること
 あげたり、片付けやそうじなど、いつもであ
 んらんできた。休み中、お昼ごはんを作って
 しいが、家にいる時間が長いのでゆっくりだ
 増えたことだ。いつもは仕事や学校生活で忙
 一番よかったことは、家族と過ごす時間が
 らこそ見つけたことがある。でも、だか
 今年の休みはとても長かった。でも、だか
 家族の大切さ
 木造中学校
 二年
 三橋
 春歌

体カに不安を感じていた。そんなときに出会ったのが、筋トレやダンス動画だ。これを見ながら家の中で家族といっしょに運動して汗を流した。一人で行うと、きつくて続けられなないけど、みんなで行うと、楽しくて元気がでてくる。これは自粛中のいい思い出だ。このように私は休み中に家族と充実した生活を送っていた。今思えば、こうしていつしかに過ぎぬ時間というのは残り少ない時間で、あると思う。世の中は暗いニクイスばかりで、

自粛中、不安やストレスがたまっていたかもしれない。そんなとき家族の存在はやはり大きいのと思う。家族がいるから、毎日元気に笑顔でいられる。今回の自粛期間で家族の大切さも考えるようになった。これから必ずと笑顔でいられるように、協力して過ごしていきたい。